

建築デザイン概論 (Introduction to Architecture Design)					
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
土木建築	必修	2年前	1	講義	熊野 稔
【授業の概要】 建築全般及び建築計画・デザインの果たす役割や進めかたを解説。次に、背景として建築と風土・都市・文化、近代における建築デザイン・材料・構造の変化を学ぶ。さらに、環境・設備工学、規模計画、デザイン要素、サステナブル建築など、建築や建築計画の基礎知識を学習して、最後に住宅のプランの立案演習を行う。					
【授業の進め方】 講義を主体とし、教科書の内容にしたがって進める。ときにはA V教材で話題を提供する。時事問題等を取り上げ、演習シートにより演習を課す。学習シートにより、学んだ知識を確認する。					
【授業の概要】	【授業項目】	【内 容】			
1回	建築ガイダンス	建築と建築空間とは何かを考える。建築のプロセスと特徴。建築への進路と資格、学習作法を学ぶ。			
2回	建築計画の条件とデザインの意義	建築の内的・外的な条件、建築法規基礎、建築の用・強・美、建築デザインに影響を与える要素等を学ぶ。			
3回	建築デザインの構造計画	建築計画と構造計画、材料と構造の特徴について学ぶ。			
4回	建築デザインの設備計画	建築計画と空調、給排水、電気、ガス、防災防火設備などの建築設備計画、建築設備の性能を学習する。			
5回	建築と風土及び都市	気候と建築、風土と材料、風土と意匠、風土と住居・集落、建築と都市景観、歴史的遺産及び都市再生。			
6回	建築と文化、まちづくり	建築と芸術・デザイン、建築と宗教及び政治、文化、建築の保存と活用、まちづくりの基礎等を学ぶ。			
7回	近代・現代建築の変遷 著名な建築作品	西洋における近代・現代建築の変遷、日本における近代・現代建築の変遷、著名な建築作品を学ぶ。			
8回	中間試験	7回の学習内容についてバランスよく出題。記述式。			
9回	答案返却。建築デザインに必要な知識・寸法と規模の計画	モジュール、寸法設計、利用規模と利用者数の把握、規模算定の方法、適切な施設・設備数、面積・高さ。			
10回	空間計画とデザイン要素、空間構成の要素	分割と連結、グルーピングとゾーニング、動線の計画、コアシステム、各種デザイン要素等を学ぶ。			
11回	環境工学基礎と環境計画、サステナブル建築	空気、熱、光、音についての建築環境工学基礎、サステナブル建築の要素を学ぶ			
12回	住宅のデザイン・設計のための概要と各室の計画	住宅の設計プロセス、条件の整理、コンセプト、エスキス、公的・個人空間等の各室の計画を学ぶ。			
13回	空間の演出と住宅・集合住宅の実例	空間演出の作法とインテリアデザイン、エクステリアデザイン、住宅・集合住宅の実例を学ぶ			
14回	住宅計画・設計演習	専用住宅と集合住宅のプランを計画する			
	期末試験	9～14回の学習内容についてバランスよく出題。記述式。住宅プランの表示問題。			
15回	解答返却など	試験問題の解説と1年間の総復習。			
【到達目標】		建築の基礎概念、建築デザインを理解するための体系的基礎知識を習得するのが目標。			
【徳山高専学習・教育目標】		A1	【J A B E E 基準 1(1)】		
【評価法】	評価 = 定期試験 2 回の合計点 / 2 演習課題状況や受講態度を加味する。				
【テキスト】	初めて学ぶ建築計画 学芸出版社 猪池雅憲ほか 環境デザイン用語辞典 井上書院				
【関連科目】	5年建築計画、3・4・5年工学デザイン				
【成績欄】	前期中間試験	前期末試験	前期成績	後期中間試験	後期末試験 学年末成績
	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】